



# 緒方 宏平さん (25歳) (営農地／久留米市北野町)

## 多くの人に支えられて今の自分がある

《就農のきっかけ》

### 趣味のサッカーを通じて就農

「小さい頃から、田植えや稲刈りなど、祖父の仕事の手伝いをしていました。ですから、私にとって農業は身近なものでした。」と語る緒方さん。

大学卒業後は、銀行員として朝6時から夜10時まで毎日忙しい日々を過ごしていたそうです。そんな中、趣味のサッカーを通じて出会えた地域の生産者と話すうちに、これまで持っていた「農業は儲からない」というイメージがなくなりました。また、以前から経営者というものに興味があり、20代の内に所得1,000万円稼ぐという大きな目標があったので就農を決意しました。不安もありましたが、妻に就農すると相談したときに快く背中を押してくれたことが大きな支えとなりました。

《これまでの過程》

### 結婚と同時に農業スタート

農業の知識が全くない緒方さんは、自分で経営する前に知り合いの生産者の下で半年間研修を受けました。そこで栽培されていたのがコマツナでした。そのため、緒方さんも現在はコマツナを栽培しています。ちなみに初めての種まきは平成22年10月1日で、その翌日が結婚式であったことはいい思い出だそうです。

コマツナは他の野菜に比べたら、栽培日数も短く、作りやすい品目と言われています。しかし、堆肥を入れすぎたり、夏場の水管理が上手くできなかったりと、これまで多くの失敗をしてきました。その度に、部会員の方たちにアドバイスをもらっています。

就農時の栽培面積は約60aでしたが、現在は約90aに拡大しました。それに伴って従業員の数も3名から、6名に増やしました。緒方さんは経営者として、従業員の方たちが気持ちよく仕事ができるように心がけているそうです。作業場の整理整頓はもちろん、従業員の方たちは年配者が多いため、無理な仕事が続かないように、1ヵ月分のスケジュールをホワイトボードで管理しています。これからも、経営者として従業員の方たちが気持ちよく仕事ができるように工夫していきたいと思います。



プロフィール

- 家族構成／妻、子ども
- 前職／銀行員
- 営農年数／約2年
- 従業員数／6名
- 耕作(経営)面積／施設90a
- 販路／JA共販

《これからの展望》

### 謙虚な姿勢で働いて畑を徐々に拡大

「これからは、就農時に設定した所得目標を達成するために頑張っていきたい。そして、これまで支えてくれた人々に恩返しをしたい。」と緒方さんは言います。

平成23年度は計画していた以上の収量を確保できたので、自信になりました。今後は、更に約40aの規模拡大を考えていますが、可能な範囲で最大限の努力をしていきたいとの思いがあります。また、部会としての販売金額が上がることで部会に恩返しができると思っています。北野町で就農したからにはJAみいという産地の力になっていきたいです。そのために、これからもしっかりと物作りに努めたいそうです。



### Good👍 成功のためのポイント

就農して感じたことは、人とのつながりが大事であるということ。一人だけではここまでできなかったと思う。祖父がいなかったら、土地も機械もなかったし、地域の人の支えがなければ、しっかりとした品物ができなかった。

また、農業は体力勝負なので、計画的に休みをとって体調管理には気を遣うことも必要です。